

3つの国立公園とまちを繋ぐ ロングトレイルについて考える

原生の自然が色濃いひがし北海道にある、「釧路湿原国立公園」、「阿寒摩周国立公園」、「知床国立公園」と、それぞれの「まち」をつなぎ、雄大な大自然を舞台に、縄文、アイヌ文化、開拓の歴史を感じながら歩いて旅をするロングトレイルが計画されています。全長350kmを超える、まだ名もなきこの「長く歩く旅の道」、ロングトレイルは、どのように地域に貢献し、また歩く速度で旅する人々にどんな気づきを与えるのか？新しい旅のスタイルであり観光の形、また地域計画として、昨今世界中で注目されるロングトレイルについて、有識者と地域の皆さんと共に考える機会を設けます。



プログラム

12:20 開場 12:50 開会～16:30 閉会

第1部

12:50

環境省 挨拶

話題提供 長く歩く旅の魅力と可能性 / (一社)トレイルブレイズ ハイキング研究所 所長 長谷川 晋

基調講演 皆で歩き、皆で育てる道 / 木村 宏 氏

国内の事例紹介 熊野古道 / 多田 稔子 氏

14:50

会場との意見交換

第2部

15:00

国土交通省北海道運輸局 挨拶

基調講演 Sustainable Adventure Travel in Jordan リーナ アンナブ
ヨルダンにおける持続可能なアドベンチャートラベルの取組み [逐次通訳] / Lina Annab 閣下

ガイドラインの説明 「ロングトレイルツアー推進による持続可能な観光地域づくりガイドライン (仮) について」

16:30

(株)JTB総合研究所 交流戦略部長 主席研究員

(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 業務執行理事 山下 真輝

きむら ひろし

木村 宏

北海道大学
観光学高等研究センター教授
NPO法人信越トレイルクラブ
代表理事



ホテル、リゾート開発企業の勤務後、長野県に移住。宿泊施設経営後、日本型 DMO の先駆け、信州いやま観光局を運営。観光関連施設運営、着地型商品造成、観光まちづくり事業を展開。森林保全活動をきっかけに、日本のロングトレイルの父、加藤則芳と出会い「信越トレイル」の整備・事業化に取り組む。日本のロングトレイルの普及活動にも従事。

ただ のりこ

多田 稔子

(一社)田辺市熊野ツーリズム
ビューロー会長



和歌山県生まれ。和歌山大学教育学部卒業。2004年に世界文化遺産登録された熊野古道に、外国人個人観光客を呼び込み、歩く人がいるからこそ古道が守られ巡礼文化が継承できることを、観光という手法で実践してきた。2015年から始めたサンティアゴ巡礼道との共通巡礼のプロジェクト「DUAL PILGRIM」は、3500人を上回る達成者を生んでいる。

リーナ アンナブ

Lina Annab

駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使
(元ヨルダン観光・考古大臣)



2016年にヨルダン観光・考古大臣に就任。2017年、世界的なアドベンチャートラベルのイベント「Adventure NEXT」を開催し、全長650kmに及ぶ「ヨルダントレイル」を世界に発信。同トレイルは2018年に「National Geographic Traveller」誌の「訪れるべき場所2018」に選定される。2019年より現職。

主催：環境省、国土交通省北海道運輸局 事務局：(一社)トレイルブレイズ ハイキング研究所、(株)JTB総合研究所

問合せ先：メール admin@trailblaze-hi.org / 電話 03-3560-2046